



問う心を育てる

TEST2017
2017年3月18—19日

ERIC国際理解教育センター
ファシリテーター: かくたなおこ

+ 問う心 を育てる QFT

- QFT 質問づくりテクニックのルールの共有
- 問う： テーマについて考えられる限りの問いをブレストする
- 問いを分析する、言い換えてみる： 「閉じた問い/開いた問い」
- 優先順位の高い問いを三つに絞る： 選んだ理由などを確認する
- 「問い」に対する次のステップ： 知りたいこと、知るためにとる行動
- ふりかえり

+

QFT ルール

=ブレインストーミングの原則

- できるだけたくさん問う。
- 出された問いについて議論しない。
- 問いは出された言葉通りに書き出す。
- 意見や主張が出された場合も、疑問形にして書き出す。
- 問いに順番に番号を振っていく。





閉じた問い
開いた問い

closed-ended
open-ended



- 定義

- 「閉じた問い」とは、yes/no、あるいは一語で答えることができるもの
- 「開いた問い」とは、答えるのに考える時間が必要な問い。

- それぞれの短所長所を考える。

- リストの問いを分類する。

- 閉じた問いを開いた問いに、開いた問いを閉じた問いに言い換えてみる。



優先順位をつけるとすれば . . .



- 最も重要だと思うものを三つ選ぶ
 - あなたにとって
 - テーマにとって
 - 学習目標にとって
 - などなどの「問い方」があり得るが . . .
- 選んだ理由は?
- リストのどこにある?

+ 次のステップ: 知りたいこと、そのための行動



問い	問いに答えるために必要な情報 know	その情報を得るためにとるべき行動 do
1.		
2.		
3.		

+

ふりかえり: テーマについて、QFTについて

- 共有する
 - 吟味した問い
 - 優先順位とその問いのリストでの位置
 - 優先順位の根拠
 - 次のステップについて
- 学んだことは何か
- どのように学んだか
- テーマについて新たにわかったことは何か
- QFTについて学んだことは何か



+ 学んだことを次につなぐ: QFTの応用

- QFTはどんなことに応用できるだろうか?
- 授業のどの段階で活用できるか?
 - 導入
 - 展開
 - まとめ
- どういう目的で使うことができるか?
 - 動機付け
 - 知識の定着
 - 評価
 - 行動計画づくり
- 参考『たった一つを変えるだけ』ダン・ロススタイン他、新評論